

平成30年度

編入学者募集要項



独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8121 (学生課)

FAX 0166-55-8084 (学生課)

E-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp

URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

目 次

編入学者募集要項

1	入学者受入方針(アドミッションポリシー)	1
2	編入学を実施する学科, 編入学年次及び募集人員	1
3	出願資格	1
4	志望学科	1
5	出願期間	2
6	出願手続	2
7	選抜方法	3
8	合格発表	3
9	入学確約書の提出	4
10	入学手続	4
11	編入学者選抜試験成績の開示について	4
12	個人情報の取扱いについて	5
13	受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合について	5
14	その他	5

編入学案内

1	本校の概要	6
2	本校の教育目標	6
3	編入学制度	6
4	学科紹介	6
5	編入学の学年及び授業科目	8
6	入学料, 授業料等	8
7	入学料・授業料免除及び奨学金制度	8
8	学生寮	9
9	卒業後の進路	9
10	JABEE認定「環境・生産システム工学」教育プログラムについて	10

出願書類

- 編入学願書・受験票・写真票
- 振込依頼書・振込金受取書

編入学者募集要項

1 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

求める学生像 — 旭川高専は、こんな「君たち」を待っています —

- 地球環境、人に優しいものづくりに関心のある人
- 科学が好きで、未知のことにチャレンジする気構えのある人
- いつも夢を持ち、その実現まであきらめないで努力を惜しまない人

旭川高専の教育理念、教育目標等については、本校ホームページをご覧ください。

2 編入学を実施する学科、編入学年次及び募集人員

学 科	編 入 学 年 次	募 集 人 員
機械システム工学科	第4学年	若 干 名
電気情報工学科		
システム制御情報工学科		
物質化学工学科		

3 出願資格

- (1) 工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科並びに普通科及び理数科を卒業した者（平成30年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 中等教育学校の後期課程の「普通・理数・総合系」を卒業した者（平成30年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者で編入学の時 18歳に達する者

4 志望学科

志望学科は、工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科の場合は、所属学科と同系であることを原則とし次表のとおりとします。それ以外の者は、いずれの学科でも志望することができます。

志望学科	出身校における所属学科
機械システム工学科	機械系学科（機械科，自動車科，電子機械科，材料技術科，機械・電気科等）
電気情報工学科	電気系学科（電気科，情報技術科，電気システム科，機械・電気科，電気・電子科，電子情報システム科等）

システム制御情報工学科	機械系学科（機械科，電子機械科，情報技術科，機械・電気科等）
物質化学工学科	化学系学科（工業化学科，物質化学科，環境化学科等）

5 出願期間

出 願 期 間	郵 送 に よ る 場 合
平成 29 年 7 月 3 日(月)) 平成 29 年 7 月 7 日(金)	平成 29 年 7 月 7 日(金) 16 時必着

6 出願手続

出願資格(1)及び(2)の者は学校長を通じて、(3)の者は個々に、次の書類等を本校学生課入学試験室へ提出してください。なお、郵送の場合は必ず「書留・速達」とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きしてください。

区 分		留 意 事 項
1	編 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、「編入学願書・受験票・写真票」は切り離さないでください。
2	受験票及び写真票	「写真票」には、縦4cm×横3cm，脱帽上半身正面向き，出願前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。
3	調 査 書	出願資格(1)及び(2)の者は，出身学校所定の用紙により，学校長が作成してください。各教科の評定は，第2学年までの成績を記入してください。 出願資格(3)の者は，高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「合格証明書」を提出してください。
4	受験票送付用封筒	長形3号(120mm×235mm)の封筒に，志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し， 362 円分の切手(速達料を含む)を貼ってください。
5	入 学 検 定 料	入学検定料は 16,500 円です。本校所定の振込用紙により，志願者本人の名義で，金融機関から， 平成29年6月6日(火)から平成29年7月7日(金)までの間に振り込んでください 。振り込み後，「振込金受取書」(ゆうちょ銀行から振り込んだ場合，ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」)の写しを入学願書の裏面に貼ってください。 ※既納の検定料は，出願書類受理後は返還できません。

7 選抜方法

編入学者の選抜は、学力検査（口頭試問）及び調査書の総合判定により行います。

学力検査では、志望動機、その他必要な事項について面接を行うほか、下記の科目に関する口頭試問（黒板等を使用する場合あり）を行います（30分程度）。

（1）学力検査（口頭試問）の科目名及び出題範囲

学 科	科目名	出題範囲
各 学 科 共 通	数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ
	英 語	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ
機械システム工学科	専門科目	機械基礎，電気基礎
	物 理	物理基礎
電 気 情 報 工 学 科	専門科目	電気基礎，情報技術基礎
	物 理	物理基礎
システム制御情報工学科	専門科目	機械基礎，情報技術基礎
	物 理	物理基礎
物 質 化 学 工 学 科	専門科目	工業化学（無機・分析化学基礎，有機化学基礎）
	化 学	化学基礎

※**数学**及び**英語**のほか、工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科の場合は**志望学科の専門科目**，その他の場合は志望学科により**物理又は化学**から出題します。

（2）学力検査（口頭試問）の日時及び場所

日 時	場 所
平成 29 年 7 月 23 日(日) 9 : 00～	旭川工業高等専門学校

※受験票送付時に開始時間を通知します。

8 合格発表

（1）発表日時

平成 29 年 7 月 27 日(木) 9 時

（2）発表方法

本校構内に受験番号を掲示するとともに、受験者及び学校長に文書で合否を通知します。

また、同時刻から本校ホームページに受験番号を掲載します。電話，FAX等による合否の問い合わせには応じられません。

9 入学確約書の提出

合格者で入学を希望する場合は、平成 29 年 8 月 10 日(木)までに「入学確約書」(合否結果通知書に同封)を提出してください。

10 入学手続

合格者あて、平成 30 年 3 月上旬に別途通知します。

11 編入学者選抜試験成績の開示について

編入学者選抜試験成績の開示を希望する場合の手続きは、次のとおりです。

(1) 申請者

編入学者選抜試験の受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)

(2) 開示内容

- ・総得点

(3) 申請期間

平成 30 年 3 月 16 日(金)から 4 月 27 日(金)までとします。

(日曜日、土曜日及び祝日を除き、9:00~12:00, 13:00~16:00)

(4) 申請に必要な書類

- ①旭川工業高等専門学校編入学者選抜試験成績開示申請書
- ②本校受験票

(注) 編入学者選抜試験成績開示申請書には、押印欄がありますので認印をお持ちください。

(5) 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)を提示し、学生課の窓口で申請してください。

ただし、遠隔地に居住するなどの理由で受験者本人が来校することができない場合には、郵便での申請も受け付けますので、下記問い合わせ先にご相談ください。

(6) 開示の方法

学生課の窓口で交付の形で開示します。

申請時と同じく開示を請求した受験生本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)を提示してください。

なお、「(5) 申請方法」の郵便による申請者には、提出された返信用封筒を使用し、郵送により開示します。

(7) 開示期間

平成30年5月7日(月)から5月11日(金)までとします。

(日曜日、土曜日及び祝日を除き、9:00~12:00, 13:00~16:00)

(8) 問い合わせ先

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

旭川工業高等専門学校 学生課

電話 0166-55-8121

12 個人情報の取扱いについて

出願の際に取得した氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、入学手続き及び入学者選抜方法等の改善に関する業務のために利用します。

また、入学者については、学籍管理、入学料・授業料免除、奨学金申請、授業料等に関する業務を行うために利用します。

13 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合について

身体に障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、**平成29年6月26日(月)**までに、学校長を通じて本校学生課教務係へ申し出てください。

14 その他

(1) 編入学者募集要項は、本校学生課へ請求してください。

(2) 編入学者募集要項に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

旭川工業高等専門学校 学生課

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8121

FAX 0166-55-8084

E-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp

編 入 学 案 内

1 本校の概要

設 置	昭和 37 年 4 月 1 日
所 在 地	北海道旭川市春光台 2 条 2 丁目 1 番 6 号
学 科 等	準学士課程[5年] 機械システム工学科 (40名) 電気情報工学科 (40名) システム制御情報工学科(40名) 物質化学工学科 (40名) 専攻科課程[2年] 生産システム工学専攻 (12名) 応用化学専攻 (4名) ＜()内は入学定員＞

2 本校の教育目標

- 1 人間形成に必要な一般教育科目をできるだけ幅広く展開し，豊かな教養と幅広い思考力を養う。また，外国語を鍛え，外国文化に対する理解力を養う。
- 2 若く新鮮な感性と実験・実習等を重視した体験学習により，豊かな創造力と行動力を養う。
- 3 工学基礎及び専門基礎をしっかり身に付けさせ，広い専門的視野と総合的判断力を持たせる。
- 4 自主的に思考し，学習し，行動する習慣を身に付けさせ，心身の健康維持，増進に努めさせる。

3 編入学制度

高等専門学校は，大学と同じ高等教育機関の1つで，5年間一貫の工学に関する早期専門教育により「創造力と実践力を備えた技術者」を育成することを目的として教育・研究活動を行っています。

本校の編入学制度は，このような目的を達成するために，高等学校の卒業者等にも広く門戸を開放して，科学技術の一層の発展とその担い手となるべき技術者を育てるために設けられている制度です。

4 学科紹介

機械システム工学科

自動車や航空機等の輸送機械，テレビや冷蔵庫等の家電製品，時計やカメラ等の精密機械だけではなく，プラスチック製品や衣料品，さらには加工食品をつくる時にも機械工学の知識と技術が必要です。

このように，機械工学を学んだエンジニアは，工業製品を生産するすべての分野で必要とされており，特に最近では，従来の機械工学の知識に，コンピュータの知識を応用・融合させることが求められています。機械システム工学科では，全学年においてコンピュータを活用した授業を行いながら，熱・流体分野，材料・材料力学分野，生産・設計分野，機械制御分野の授業で得た専門知識や技術を，機械製作実習，創造

実習，CAD・CAM，設計製図，工学実験での体験や実践とともに習得していき，第5学年の卒業研究等において，これらの知識や技術を総合的に応用する能力を身に付け，「自らものづくりのできる技術者」を育成することをめざしています。

電気情報工学科

現代は，多くの電気・電子機器が働いて高度情報化社会を展開しており，インターネットを中心としたネットワーク社会が進行しています。これらの電気・電子機器は従来の電気・電子工学を利用した機能だけでなく，内部にマイクロコンピュータが組み込まれて機器を制御しています。さらに，これらの機器はネットワークを介して制御されるユビキタス情報社会に発展しようとしています。そこでは，情報（ソフトウェア）が大きな役割を担っていると言えます。このような情報化社会を構成するために必要な，ハードウェアとソフトウェアの両方を扱うことのできる高度な電気技術を理解している技術者が，社会から求められているのです。

電気情報工学科では，このような社会の要請に適応できる技術者を育てるため，電気回路，電子回路等の基礎科目や半導体工学，通信工学，環境エネルギー工学等の電気・電子技術とコンピュータ工学，情報システム工学等の情報技術を実験・実習をも加えてバランスよく学びます。

システム制御情報工学科

コンピュータ及び情報技術は，電化製品や自動車等の産業製品，それら製品を製造する生産機械や産業ロボット，さらには金融・物流システム等に組み込まれており，現代社会にとって欠くことのできない基盤技術です。コンピュータの応用技術は，その構成要素であるマイクロプロセッサ，電気・電子部品，機械部品等のハードウェア技術と，これらをシステムとして有機的に結合し目的の機能を発揮させるソフトウェア技術から成り立っています。したがって，それらを統合するためには，機械・電気をはじめとする多様な領域にまたがる知識とシステム制御の技術を身に付けることが必須です。このような複合領域にまたがる技術に対応できる技術者への社会的・国際的要請は，今後もますます強くなると考えられます。

システム制御情報工学科では，コンピュータ応用技術と機械工学，電気工学等の基礎が融合した複合領域分野で活躍できる国際的視野を持った技術者を育成することを目的としています。

物質化学工学科

物質化学工学科では，全ての産業の基礎である「物質」を化学の視点から学ぶことを通して，人類に有益な物質の開発や生産，環境の保全などに貢献できる人材を育成することを目的としています。

第1～3学年では，分析化学や有機化学，生化学などの基礎的科目を，各々に対応した実験科目とともに学習します。編入学後の第4学年では，化学工学や物理化学を詳しく学ぶとともに，「材料化学コース」と「生物化学コース」とに分かれ，それぞれ，無機/有機材料の合成・物性・応用や，生体物質・生物・微生物を利用した生産技術等について，よ

り広く深く学習します。編入学生に対しては、必要に応じて補習等を行い、専門基礎知識の再構築を行っています。

5年間の総仕上げ科目である卒業研究では、少人数の恵まれた環境の中で、問題探索能力や解決能力を養います。現在、物質化学工学科の卒業生の約4割は化学工業などの生産現場へ進み、また約6割は、更に学問を究めるため専攻科や大学へと進学しています。

5 編入学の学年及び授業科目

各学科とも第4学年に編入学し、各学科に共通する教養科目及び学科別の専門科目を履修します。各学科の授業科目は11ページのとおりです。

なお、学科によっては、不足部分を補うため、数学・物理・専門科目の補習授業を行うことがあります。

6 入学料、授業料等

(1) 入学料 84,600円(予定)

※入学手続き時に納入してください。

※入学手続き書類の送付時に確定額を通知します。

※既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。

(2) 授業料(年額) 234,600円(予定)

※前期(4月)と後期(10月)の2回に分けて納入してください。

※入学手続き書類の送付時に確定額を通知します。また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 諸納金(後援会費、学生会費、教科書代等) 約100,000円

※入学手続き書類の送付時に確定額を通知します。

7 入学料・授業料免除及び奨学金制度

(1) 入学料の免除

入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は風水害等の災害を受けた場合等、特別な事情により入学料の納付が困難であると認められる場合、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

(2) 授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀であると認められる場合、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

(3) 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物共に優れ、かつ、健康であって授業料の納付が困難と認められる者に対しては、選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

また、ウェルネット株式会社拠出の寄附金を原資として、経済的に困窮している道内4高専(旭川高専、函館高専、苫小牧高専、釧路高専)の学生を支援対象とする給付型の奨学金があります。

8 学生寮

本校には、教育施設の一環として学生寮（名称：明誠寮）があり、入寮は選考によります。入寮に伴う経費は以下のとおりです。

- ・明誠寮父母会入会金 2,500円（新規入寮者のみ）
- ・明誠寮父母会年会費 1,000円
- ・寄宿料（月額） 700円（個室は800円）
- ・寮費（12ヶ月での平均）約8,000円～10,000円
- ・食費（12ヶ月での平均） 約26,000円

9 卒業後の進路

平成28年度卒業生の進路状況は、以下のとおりです。

学 科 名	卒業生数	就職者数	本校専攻科入学者数	大学等編入学者数
機械システム工学科	37名	24名	0名	9名
電気情報工学科	37	21	2	13
システム制御情報工学科	39	21	6	12
物質化学工学科	38	14	10	14
合 計	151	80	18	48

(1) 就職

卒業生は、産業界のあらゆる分野、機械、電気、自動車、航空、精密機械、化学工業等の産業のほか、流通、情報等の産業界のあらゆる分野の企業の先端技術者として就職、活躍しており、就職率はほぼ100%です。

過去3年間の主な就職先

北海道電力(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・エムイー、北海道旅客鉄道(株)、大旺鋼球製造(株)、オムロンフィールドエンジニアリング北海道(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、ジョンソンコントロールズ(株)、出光興産(株)、雪印メグミルク(株)、東芝エレベータ(株)、東芝メディカルシステムズ(株)、ウェルネット(株)、(株)メンバーズ、キヤノンマーケティングジャパン(株)、ダイキン工業(株)、フジテック(株)、(株)旭化成、三菱電機ビルテクノサービス(株)、東レ(株)、富士重工業(株)、北海道ガス(株)、(株)NHK アイテック、JNC 石油化学(株)、コニカミノルタビジネスソリューション(株)、東海旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、日本原燃(株)、ファナック(株)、小島プレス工業(株) その他

(2) 本校専攻科への進学

本校卒業後、本校専攻科に進学することができます。

専攻科は、高等専門学校における5年間の教育課程の上に設けられた2年制の課程です。より深く高度な工業に関する専門的知識及び技術を研究し、生産システム分野又は環境への配慮に柔軟に対応しながら化学・バイオ関連産業において活躍できる、創造的かつ国際的な研究開発型の技術者を育成することを目的としています。

専攻科に2年以上在籍し、62単位以上修得すると学士の学位が取得でき、さらに大学院への進学も可能です。

(3) 大学への編入学等

本校卒業後、希望する者は選考により大学(学部)の3年次(大学によっては2年次)へ編入学することができます。

新潟県長岡市と愛知県豊橋市には、高専卒業生を対象とした技術科学大学があり、さらに、全国の国立大学等が高専卒業生の3年次(大学によっては2年次)への編入学を受け入れています。昨年度は卒業生の約44%が、高専専攻科へ入学あるいは大学へ編入学しています。

過去3年間の主な進学先

北海道大学、北海道教育大学、室蘭工業大学、北見工業大学、帯広畜産大学、弘前大学、岩手大学、東北大学、筑波大学、宇都宮大学、千葉大学、東京大学、東京農工大学、長岡技術科学大学、金沢大学、信州大学、岐阜大学、大阪大学、静岡大学、豊橋技術科学大学、三重大学、神戸大学、広島大学、島根大学、高知大学、九州工業大学、熊本大学、首都大学東京、旭川高専専攻科 その他

10 JABEE 認定「環境・生産システム工学」教育プログラムについて

本校では、国際的な工学教育の水準を満たし、21世紀の社会に貢献できる能力を持った技術者を育成するため、『旭川工業高等専門学校「環境・生産システム工学」教育プログラム』を設けています。この教育プログラムは、大学の学部レベルに相当する準学士課程第4学年から専攻科第2学年までの4年間のカリキュラムで構成されています。

この教育プログラムは、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けており、本校の専攻科を修了すると修習技術者となり、登録すると技術士補の資格が得られ、技術士の国家資格を取得するための第1次試験が免除されます。

※「JABEE(日本技術者教育認定機構)」とは、大学などの技術者教育プログラムを審査・認定する非政府団体のことで、認定プログラムを修了すると「高等教育の国際標準を満たした技術者」として認められます。

※「技術士」とは、技術士法に基づく技術系の最高位に位置付けられる国家資格で、科学技術に関する高度な応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者をいいます。技術士の資格を取得することは、科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを国から認定されることとなります。

授 業 科 目

一般・教養科目（各学科共通）

必修科目			選択科目(3単位以上)	
国語Ⅰ	物理Ⅰ	英文文法	文学	一般教養特別講義A
国語Ⅱ	物理Ⅱ	基礎英会話	哲学	一般教養特別講義B
国語Ⅲ	化学Ⅰ	英語演習	心理学	一般教養特別講義C
現代社会	化学Ⅱ	美術	史学	一般教養特別講義D
日本史	生物	情報基礎	法学	
世界史	地学	言語表現	政治学	
地理	保健	日本文化論	英語特講A	
数学ⅠA	体育Ⅰ	知的財産権論	英語特講B	
数学ⅠB	体育Ⅱ	経済学	第二外国語A	
数学ⅡA	体育Ⅲ	体育Ⅳ	第二外国語B	
数学ⅡB	英語Ⅰ	英語ⅣA	数学特講	
数学ⅢA	英語Ⅱ	英語ⅣB	物理特講	
数学ⅢB	英語Ⅲ	英語Ⅴ		

専門科目

機械システム工学科	電気情報工学科	システム制御情報工学科	物質化学工学科	
必修科目	必修科目	必修科目	必修科目	
工学基礎演習Ⅰ	応用物理Ⅰ	応用物理Ⅰ	応用物理Ⅰ	応用数学Ⅰ
工学基礎演習Ⅱ	電気工学基礎	電子計算機概論	情報処理	応用数学Ⅱ
力学基礎	基礎電気回路Ⅰ	情報処理	基礎化学	応用物理Ⅱ
応用物理Ⅰ	基礎電気回路Ⅱ	CAD/CAM演習	化学基礎演習	応用物理実験
機械加工Ⅰ	基礎電子回路	コンピュータグラフィックス	分析化学	情報処理演習
機械加工Ⅱ	基礎電磁気学	アルゴリズムとデータ構造	無機化学Ⅰ	物理化学Ⅱ
機械材料学	電子工学	工業力学	無機化学Ⅱ	物理化学Ⅲ
材料力学Ⅰ	電気電子計測Ⅰ	材料工学	有機化学Ⅰ	化学工学Ⅱ
機構学	コンピュータ工学基礎	機械要素設計	有機化学Ⅱ	化学工学Ⅲ
機械要素Ⅰ	計算機工学	電気工学	基礎生物学	化学工学Ⅳ
機械製図Ⅰ	電気情報基礎演習	工学基礎演習Ⅰ	微生物学	機器分析
機械製図Ⅱ	創造プログラミング実習	工学基礎演習Ⅱ	生化学	生物環境化学
CAD/CAMⅠ	プログラミング実習Ⅰ	製図	物理化学Ⅰ	無機化学Ⅲ
CAD/CAMⅡ	プログラミング実習Ⅱ	CADⅠ	化学工学Ⅰ	有機化学Ⅲ
機械製作実習Ⅰ	電気情報工学基礎実験Ⅰ	CADⅡ	基礎化学実験	化学工業
機械製作実習Ⅱ	電気情報工学基礎実験Ⅱ	工作実習	分析化学実験	高分子化学
機械総合実習	応用数学Ⅰ	応用数学Ⅰ	有機化学実験	基礎工学概論Ⅰ
プログラミング基礎	応用数学Ⅱ	応用数学Ⅱ	生化学実験	基礎工学概論Ⅱ
電気工学	応用物理Ⅱ	応用物理Ⅱ		物理化学実験
応用数学Ⅰ	応用物理実験	応用物理実験		化学工学実験
応用数学Ⅱ	電気回路Ⅰ	数値計算Ⅰ		卒業研究
応用数学Ⅲ	電気回路Ⅱ	数値計算Ⅱ		
応用数学Ⅳ	電子回路Ⅰ	デジタル形状設計Ⅰ		
応用物理Ⅱ	電子回路Ⅱ	デジタル形状設計Ⅱ		
応用物理実験	電磁気学Ⅰ	材料力学Ⅰ		
機械システム工学ゼミナール	電磁気学Ⅱ	材料力学Ⅱ		
熱力学Ⅰ	電気電子計測Ⅱ	熱・流体工学Ⅰ		
熱力学Ⅱ	電気機器工学	熱・流体工学Ⅱ		
熱エネルギー工学Ⅰ	環境エネルギー工学	加工Ⅰ		
熱エネルギー工学Ⅱ	電子物性工学	加工Ⅱ		
流体力学Ⅰ	半導体工学	ロボティクスⅠ		
流体力学Ⅱ	情報システム工学	ロボティクスⅡ		
流体工学Ⅰ	ソフトウェア工学	計測Ⅰ		
流体工学Ⅱ	情報理論	計測Ⅱ		
材料力学Ⅱ	工業英語	制御Ⅰ		
材料力学Ⅲ	電気情報工学実験Ⅰ	制御Ⅱ		
機械力学Ⅰ	電気情報工学実験Ⅱ	制御Ⅲ		
機械力学Ⅱ	卒業研究	制御Ⅳ		
機械要素Ⅱ	選択科目(計10単位以上)	電子工学Ⅰ		
メカトロニクスⅠ	電気情報演習A	電子工学Ⅱ		
メカトロニクスⅡ	電気情報演習B	工業英語		
創造実習	創成工学演習A	システム工学Ⅰ		
機械設計演習Ⅰ	創成工学演習B	システム工学Ⅱ		
機械設計演習Ⅱ	企業実習	メカトロニクスⅠ		
プログラミング応用Ⅰ	コンピュータ工学	メカトロニクスⅡ		
プログラミング応用Ⅱ	光エレクトロニクス	ゼミナール		
CAD/CAE	通信工学	画像・信号処理Ⅰ		
センシング工学Ⅰ	電子回路Ⅲ	画像・信号処理Ⅱ		
センシング工学Ⅱ	情報ネットワーク	創造工学		
制御Ⅰ	知識工学	工学実験Ⅰ		
制御Ⅱ	量子工学	工学実験Ⅱ		
システム工学	システム制御工学	卒業研究		
生産技術論	電磁波工学	選択科目(5単位以上)		
機械システム工学実験Ⅰ	情報アルゴリズム	企業実習		
機械システム工学実験Ⅱ	電力システム工学	システムダイナミクス		
卒業研究		CAD/CAMシステム		
選択科目(3単位以上)		計算力学		
企業実習		通信ネットワーク工学		
計算力学		応用電子工学		
塑性加工学		情報理論		
オプトエレクトロニクス				

※第4・5学年の履修科目は、網かけの科目を除く科目です。

平成30年度 旭川工業高等専門学校

編入学願書

		受験番号	※			
志望学科	工学科		入寮希望の有無	有・無		
志願者	ふりがな				性別	男・女
	氏名					
	生年月日	西暦	年	月		
	出願資格	立 学校				
	職歴	年 月 卒業・卒業見込				
	ふりがな					
保護者	現住所	〒 - TEL - -				
	ふりがな			志願者との関係		
	氏名					
	ふりがな					
現住所	〒 - TEL - -					

- (注) 1 ※欄は記入しないでください。
 2 生年月日は、西暦で記入してください。
 3 「入寮希望の有無」欄及び「性別」欄は、それぞれ該当する方を○で囲んでください。

平成30年度
旭川工業高等専門学校

編入学志願者 写真票

受験番号	※	
志望学科	工学科	
ふりがな		男・女
氏名		
生年月日	年 月 日生	
出身学校名		

(写真貼付欄)

この大きさに写真を切って全面にのり付けしてください。

(4cm×3cm)

平成30年度
旭川工業高等専門学校

編入学志願者 受験票

受験番号	※	
志望学科	工学科	
ふりがな		男・女
氏名		
生年月日	年 月 日生	
出身学校名		

受験上の注意

- 1 試験開始時刻の20分前までに受付を済ませ、受験者控室へ入室してください。
- 2 受験票は常に携帯し、係員から求められた場合は提示してください。
- 3 受験票を紛失又は当日忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て、再交付を受けてください。
- 4 上履きは必要ありません。

ここに「振込金受取書」（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合、ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」）の写しを貼ってください。

（全面のり付け）

注意事項

※各票の太線の中のみボールペンで記入してください。

※編入学願書提出前の所定の期間内に金融機関窓口で振り込んでください。(振込理由を明確にするため、ATMは不可。)

※志願者本人の名義で振り込んでください。

※振込金受取書の写しを入学願書の裏面に貼り付けてください。

※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、この用紙を使用することは出来ません。郵便窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り記入いただく必要があります。振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを入学願書の裏面に貼り付けてください。

(ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。)

切 り 取 り 線

振込金受取書

平成 年 月 日				
金額		¥	1 6	5 0 0
先方銀行	株式会社北海道銀行大町支店			
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0474397
	高専機構本部 様			
(志願者本人) ご依頼人	様			
備考	手数料			円

上記の金額正に受け取りました。

(取扱店)

店

(取扱店→依頼人)

収入
印紙

電信

振込依頼書

科目				
ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱	手数料	円
先方銀行	株式会社北海道銀行大町支店		金額	¥ 1 6 5 0 0
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0474397
	(フリガナ) コウセンキコウホンブ		内訳	現金
	高専機構本部 様		当手	
ご依頼人 (志願者本人)	八王子市東浅川町701-2		収入印	
	(フリガナ)	(おなまえ)	様	
	(おところ)	(電話)	-	

切
り
取
り
線

(取扱店保管)

振
替
科
目

旭川工業高等専門学校編入学者選抜試験成績開示申請書

平成 年 月 日

旭川工業高等専門学校長 殿

私に関する、平成30年度編入学者選抜試験における編入学者選抜試験成績(総得点)の開示を下記により申請します。

記

フリガナ 請求者氏名	印
生年月日	
住所	(〒 -)
電話番号	— —
受験番号	
志望学科名	

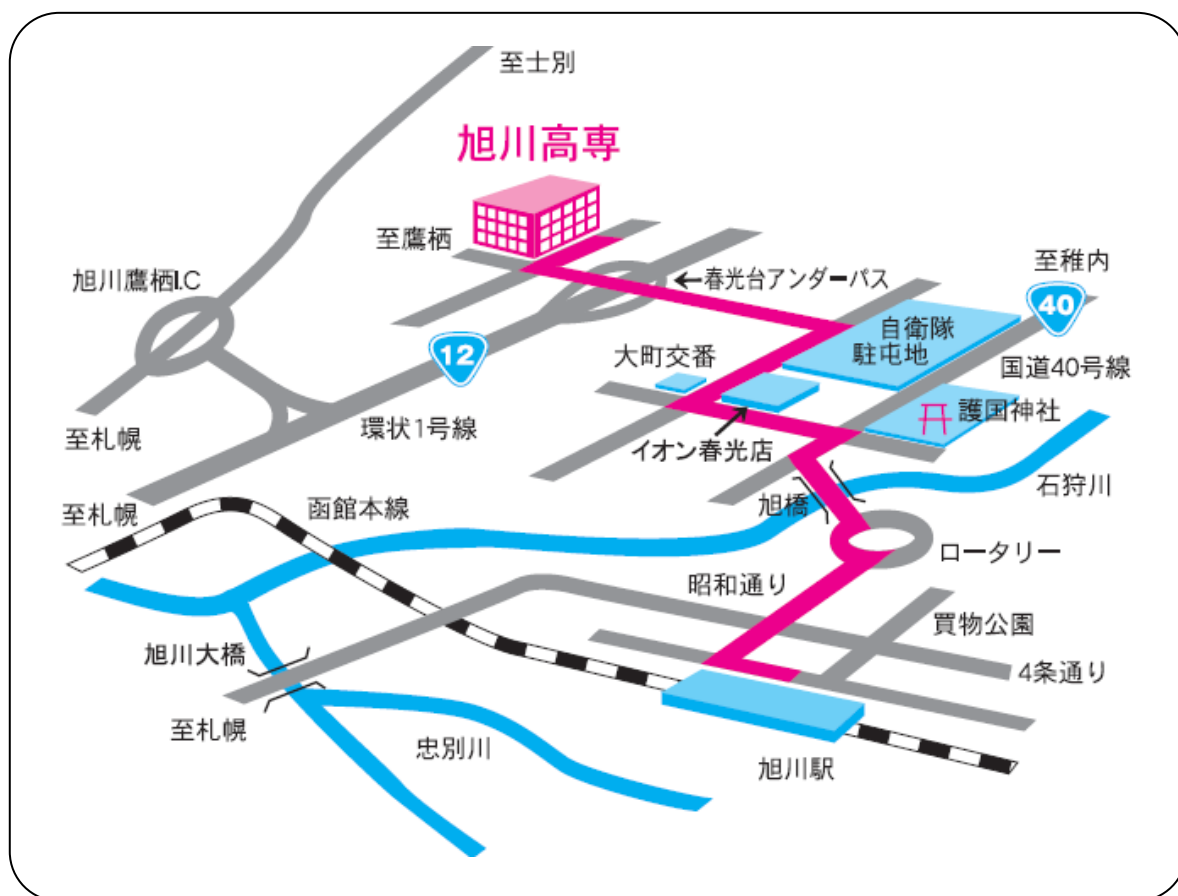
(注)

本人確認のため、受験票を提示してください。受験票を紛失した場合は、本人確認できるもの(学生証等)を提示してください。

※この欄は記入しないでください。

受理年月日	年 月 日	受付担当	
-------	-------	------	--

旭川工業高等専門学校位置図



アクセス

- J R 「旭川駅」から約 7 km
 - ・ 旭川駅前バスタッチ④のりばから、道北バス 29 番「循環 春光台～実業高校～旭川駅」または 30 番「旭川駅～春光台 4 条 5 丁目」に乗車し「高専前」下車。約 25 分。
 - ・ 自動車約 20 分。
- 道央自動車道「旭川鷹栖 I C」から約 4 km
 - ・ 自動車約 10 分。
- 旭川空港から約 25 km
 - ・ 自動車約 40 分。

独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校
〒071-8142 旭川市春光台 2 条 2 丁目 1 番 6 号
TEL 0166-55-8121 (学生課)
FAX 0166-55-8084 (学生課)
E-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp
URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>